

第48回メディアを考えるつどい 感想

☆2. 本日のつどいについてご意見・ご感想

☆3. NHKについてご意見があれば

2. 知ること、知らせること、拡げることが大切です。行事等を宣伝してください。

3. NHK スペシャル、クローズアップ現代等や、E テレは為になっている。然し、時間帯が問題。ニュースウオッチ9はつまらない。紙離れも厳しい。(70歳 男)

2. 永田浩三さんのお話し、具体的で非常にわかり易かった。ただ、レジュメを見ると時間が足りなかったのが、話しが残っているようで、しかも、聞きたいと思うような中味なので、少し残念でした。永田さんと根本さんとの対談、面白かったです。永田さんの真面目さ、まっとうさが伝わりました。

イベントの時間が長く、年寄りには少しキツイです。今日は後の予定もあり、途中で退席することになってしまいました。

3. 報道の仕方があまりにも安倍べったりで腹が立ちます。ニュースウオッチ9は最近少し良くなったのかなと感じていますが、気のせいでしょうか。先日も、ニュース7と明らかに取り上げ方が異なっていました。(76歳 男)

3. 損得でなく、善悪の判断で番組を作ってほしい。(65歳 男)

2. 安倍官邸とNHK人事が特権としてあることがよくわかった。日放労の闘う労働組合から、労使協調に移っていた根本さんのお話がよくわかりました。労働組合の36協定で労使協定を弱いものにしていった経過は私たちも感じてきたところです。労組役員が役職についていったところが目に見えた。

3. CMのないNHKであるが、内容にNHK独自のニュースも感じられず、安倍政権への気付き(そんたく)でとことんつつこめてないところにいらだちを感じる。公共放送としての値打ちを示してほしい。ドキュメントにおいても民放との違いを感じている良いところもある(75歳 女)

2. 生々しい事実の提示に考えさせられました。私は、ネット、パソコンはやらないが・・・事実を事実としてとらえない人達がいるし、意図的にフェイクを流している政権をとりまく人たちにどう対応して行くか・・・経験の交流が必要であると感じた。本日のような集会に参加するのはほんの一部かもしれない。

3. ドキュメントしか見る気がしない。時にはニュースを見る必要があるか。(77歳 男)

2. 初めて参加しましたが、今後も参加したいと思います(72歳 男)

2. 私の質問を取り上げていただいて、ありがとうございます。これからも頑張りましょう。(75歳 男)

2. とてもわかりやすく、さすがNHKでプロデューサーをされた方の実力と感心しました。的確に情報を収集・整理して発信することを、悪い政治を包囲するためのスキルとして、私たち一般人に伝授していただくことが必要と思います。それにしても、安倍政権×NHKの鎖をどうしていくか、真剣に考えることが急がれます。NHKに対抗する別のメディアの登場も望まれます(49歳 男)

2. NHKへの批判等の電話・メール等がどのように扱われているかのお話等も聞きたかった。今後に期待します。

3. ETV特集他、時の政権への批判(国民のくらしの現場に目をすえて、くらしの中から具体的な批判)がそれなりにあったが、最近は 毒にも薬にもならないような番組が増えた。昨年中頃迄くらいは放映時刻が23時以降くらいになることはあったが、それでも放映されていた。番組は作ったが放映しないでお蔵入りの番組もあったと聞く。お蔵入り番組特集がほしいものです。(80歳 男)

2. 永田浩三さんの話は、NHKの人事、政治家との構図がわかりやすく解説されて非常に良かったと思います。板野氏の返り咲きについても、板野氏の人物をよく知っておられる意見として説得力があります。ネット配信の今後について、注目すべき課題だと思います。レジメに書かれたことで、話される時間がなかったようですが、もっと聞きたかったです。「資料は必ず眠っている。歴史は民衆が動かす」この言葉は感動しました。永田浩三さんが、5回も「兵庫の会」で講演されている。凄いことです。是非、「福岡の会」にも来て、講演くださるようお願いしたい。(75歳 女)

2. NHKの内幕を伺い、暗たんたる思いです。私には、ETV特集や、NHKスペシャルなどで、すばらしいドキュメンタリーを観ていた経験があり、触発されましたし、その能力の高さに驚かされました。まだ、NHK内部で戦っている方がおられるのでしょうか？ 内部と外部の両方からの闘いが必要ではないですか。(71歳 女)

2. お二人のお話しは、それぞれのリアリティがあり、とても面白かった。ただ、永田さんのレジュメの3ページに書いた内容について、説明してもらえるとよかったです。

3. 板野氏の専務理事返り咲きには反対です。NHKの人事の決まり方、人事のシステムに大問題がある(77歳 男)

2. 組合は「たたかい」を止めた時、権利を放棄し未来はなくなりますね。お二人の有意義な話を聞けてとても良かったです(64歳 男)

2. 永田さんのNHK内部の現状について、特に板野専務理事の返り咲きの内部が理解しやすかったです。アベの広報化が、この先も続くのか・・・と思うと、増々テレビは見たくないものになっていきます。永田さんは、とても勇気があって、誠実に戦ってこられている方だと尊敬しています。SNS(ネット)で危険な言動が平気で溢れている現状で、どうぞお疲れになりませんよう祈っています。根本さん、労組運動で頑張ってくられたことよくわかりました。韓国の「共犯者たち」は、ジャーナリストの姿勢がよくわかり、生き方が問われるんですね。自分自身の生き方も「できることはするんだ」と改めて力づけられました。

3. 「日本人に抵抗の文化がない」「日本人に歴史認識の文化がない」公共放送の責任として、少しでも一步一步前進して下さることを、心から日本のNHKにお願いしたいです。これからの日本が、少しでも生きやすい世の中にするために努力するよう、皆が力を合わせていきたいです (73歳 女)

2. 労働運動のすい退が、ジャーナリズム意識の低下、そして、政治の劣化につながっていく現実と結びつきました。

3. ・予算委員会が開かれているときは、毎日でも放送してほしいと思います。1ch. 2ch. BS1. BS2 の4つのうちのどれかで。
・最近、やたら再放送番組が多いと思います。なぜですか？
・1週間のニュースのまとめ(題は忘れました)で、民放のように読者の関心が高(低)かった順で紹介していくのがありますが、何のためのニュースだろうと思います。視聴者におもねるのではなく、NHK独自の掘り下げ方があって然るべきです。民放(朝日放送)のやり方をまねているのは良くない (67歳 女)

2. Q&Aでお二人のお考えがよく理解できよかったです。

3. 市民のためにバランスを取ったニュースをNHKは流していないように思う。これは、他のメディア(TV,新聞など)と比べて扱っていない記事が多々あることから感じている。是非政権側の視点ではなく、市民の視点でニュース放送をしてもらいたい (男)

2. “NHK不払い続けて大丈夫か？”という質問がありました。ぜひ、このような方々に伝えていただきたいことがあります。私は「NHK問題を考える会奈良」に入っております。この会では、“受信料、払いますよ。払いますけど、そのかわり、放送法違反しないで、まともな放送やってもらえる！？”という裁判をやっています。この視点をもつ人々が増えていけばいいと思っています。よろしくお祈りします (61歳 女)

2. テレビ、新聞等メディア全般が劣化し、ポピュリズムに陥っていると思います。特に、少子高齢化、国・地方の1兆円借金の本質、改善策が報じられないのは残念です。NHKに限定しないで、新聞も取り上げてはどうでしょうか。

3. 受信料の徴収率が、ちまたでは約8割と言われていますが、単身赴任中、①留守宅で受信料を支払っているのに徴収する ②年数回程、実家の空き家でTVを聴取する場合でも徴収するのは不可解です (74歳 男)

2. 東電福島第一発電所3号機の爆発は、MOX燃料使用のせいではない。1, 2, 4号機もPuは自然にできるものである。元来、原子炉はPu製造機の性格をもっているから(根本氏講演)。ただすさまじさ(外観)は、1, 2, 4号機のそれを上回る。NHKも人間くさいところが多いことがわかり、面白いし、著名な永田氏の個人史がわかり、よかった。
3. WOWOWを時々視聴する。有料。受信設備一般に視聴料を取るのならNHK税とするべきだ。皇族関連のくたなく、何の見る価値もない番組を見させられる挙句、金を取るとは・・・。いちいち「・・・様」と付けるのも鼻をつく。「お前らとはじめから生まれがちがうんだ」と毎日言われている気もする。そのくせ、オランダ、イギリスの王族には「・・・様」とはつけない。だれに・・・様と言われているのか？ (72歳 男)

2. 永田浩三氏の話は、現在のNHKのことについて話された。根本氏は、メディアの基本的なことについて話された。私としては、永田浩三氏のような話をききたかった。

3. 世界の大統領・首相は、記者会見で、外国人を含む記者会見で、どんどん出席し、それに対してどんどん答えている。世界に確か79か国、安倍首相は、就任以来訪問しているが、その時の各国の記者会見の報道を見たり聞いたりしたことがない。なんか秘密訪問みたいだ。我々の税金で訪問し、そして、援助でたくさん税金を払っていることになる。これの訪問、援助した金や、それでなかったら、訪問した記者会見の中身を報道しろ (80歳 男)

2. 永田氏の話から、NHKに於ける最近の政府べったりの体制にあきれた。(根本氏の話。小林アキラと言われたが、小林薫のまちがいだと思います。)松尾氏の責任感、外交政策の追及の仕方など、後半の談話の方が興味深く聞けた

3. ニュースなのにトップで政治を放送しなくなった。バラエティが、ゴールデンアワーを占め、根本氏の話に出ていた「現代の映像」「日本の素顔」「クローズアップ現代」などが消えたり、時間帯が変わったりしているのが悔しい。その中で、ETV特集(土曜日午後11時ETV)は良い。ドラマでも一部を除いて良質だと思う (68歳 女)

2. 永田さんの話で、今のNHKの病状がよくわかった。なぜ、NHKの報道番組が、中味がカラッポで、ほとんど政府広報に近いのか、少し納得がいきました。

3. 国民・市民にとって切実なテーマ、原発再稼働、歪んだ経済金融政策(アベノミクス)、消費税増税、辺野古新基地など、NHKのニュースは、明確な視点がなく、掘り下げた取材もなく、アベ政府に都合のいいような内容がほとんど。高い視聴料を払っているのに、「返金せよ」と叫びたくなる。一部ドキュメンタリーや科学技術関係の特集など、優れた番組があるので救いはあるが。ニュース関係は、民放に比べてレベルが低く、見るたびに失望する。上層部が「アベ政権」の方ばかり見て、ニュースを作っているのが原因だと思う (67歳 女)

2.根本さんには福島の話をしてもらいたかったです。
3.アベ政治、そんなくはやめて下さい。視聴者に正しい情報を伝えることを第一の目的に下さい。NHKスペシャル関係は良い内容のものがあありますが、政治報道関係は本当にひどい内容です。本来の目的にたち戻して下さい (女)

受信料収入という最大の援護を貰いながら 政権から自立できないNHK、なぜ？

永田さんの話を聞いて考えました。NHKは7000億円を超える運営資金が、視聴者によって担保されているのだから、政権に影響、束縛されずにもっと行動すれば良いのに、なぜできないのでしょうか。

結局、今の放送法の仕組みのもとでは、政権に逆らい、視聴者の方に顔を向けることは滅首を覚悟するほかないということです。

NHKの役員になれるかどうかを決定するのはNHK会長だが、同時に経営委員会の同意が必要であり、NHK会長は経営委員会が任命し、経営委員会の委員は内閣総理大臣が任命する。つまり、NHKのなかで、自分の出世、評価の向上を望むなら、内閣総理大臣(=政府・与党)のお気に入りであればならないということです。NHKの人事権の仕組みは、もともと政権批判ができないように仕組まれているということだ。さらに事業計画・予算は、総務大臣に提出することが義務付けられ、国会の審議・承認が必要とされています。視聴者が負担した金(カネ)なのに与党に逆らって使うことができないのです。

これでは、NHK放送の内容が視聴者の方を向くことはありません。この度、参議院選挙を控えて、市民連合と5野党・会派が13項目の「共通政策」に合意し、その13番目に「国民の知る権利を確保するという観点から、報道の自由を徹底するため、放送事業者の監督を総務省から切り離し、独立行政委員会で行う新たな放送法制を構築すること。」が入りました。NHK制度改革なくして、NHK放送の偏向を根本的に糾すことは不可能だということです。(西宮市 男)

2.永田さんのお話がとてもわかりやすかった。根本さんのお話もなかなかよかった(昔のNHKのお話が少し長かったような気がする)
3.板野氏、小池氏、岩田明子氏の即刻辞任を求めます！ 国営放送に受信料を払う必要はないでしょう！ 公共放送を名乗るなら真実の報道をせよ！
(64歳 女)

2.根本さんの最後の、質問コーナーのお話がよかった。おく病風に吹かれるのが良くない。私は、今メディアが大切だと思え、おかしいと思えることはすぐ電話します。大変な中、がんばって良い放送をしている局は激励をすることが大切と思い、すぐ電話します。今日始めて参加して、これほど多くの方が集まれ、関心を持たれていることに驚き嬉しく思いました。最近程、メディアに関心を持ち、又、関心を持つことが大切だと思ったことはなく、この会に参加しました。永田浩三さんからは、NHKの裏の不当な人事について教えていただきました。令和と平成の違いは全く同感です。平成では、小渕さんの陰に回って竹下さんが、全く表に出て来なかったが、今回、令和では、安倍が8チャンネル、10チャンネルでとうとうしゃべり、鼻についたが、神戸新聞ではそのことを厳しく糾弾していました。お札の発行さえ演出と書いていました。根本仁さんには、遠い福島からおいで頂き、貴重なお話をお聞きすることができました。今程ジャーナリズムの大切さを思う時はありません。私だけではなく、その様に思われている沢山の人が集い、当事者として戦っておられる方のお話を直接お聞きするこのような機会は貴重でありたく思います。

3.NHKは御用放送となっているのは、ますます明らかに感じます。街頭インタビューしても、安倍ちゃんは頑張っているとかの意見をあえて取り上げている時に偏っていると思います。去年の夏、戦争に関してとてもいいドキュメント番組を見て、戦争のおろかさや、なぜ戦争はなくなるのかの仕組みなども感じる事が出来、NHKもよい番組を作っているなど嬉しく思ったのですが、その後、日刊ゲンダイでその時の担当ディレクターは、普通の娯楽番組担当に左せんされたと載っていました。私たちにとっては、このような良心的な番組が作られているから真実を知ることが出来るが、NHKが時の政権に左右されて、知りたいことも知れないことになれば、再び過去の暗い時代に戻るのかと、大変危機を感じています (74歳 女)

2.おかしいと思うことがいっぱいあります。
公共放送だと思われているNHKにこれだけの制約があるのか・・・。
3.時々感動する番組があります。
先日は、戦時中、気象予報の「中立」を守った岡田武松？氏の話しに感動しました。軍に抵抗し続けた、こんな人たちの紹介は大切ですね。(80歳 女)



NHK 「ニュースウオッチ9」をチェックしました

ニュース内容は「国民の知る権利」に込んでいるか、 どの項目にどれだけ時間をかけたか、何を報道しなかったか

モニター期間 2019年4月～5月 月～金 21:00～22:00
 モニターした番組 「NHK ニュースウオッチ9」
 4月、5月のニュースを項目別に、1カ月ごとの時間を合計しました。

2019年4月1日～30日

時間が長い順	項目	時間小計 時：分：秒	比率 %
1	スポーツ	3:50:06	18.6%
2	皇室	2:18:07	11.2%
3	国際	2:07:51	10.3%
4	政治	1:57:56	9.5%
5	事件・事故	1:54:07	9.2%
6	気象	1:47:19	8.7%
7	経済	1:05:01	5.3%
8	災害	0:51:27	4.2%
9	科学	0:43:41	3.5%
10	社会	0:34:17	2.8%
11	季節	0:33:25	2.7%
12	選挙	0:27:43	2.2%
13	労働	0:25:52	2.1%
14	福祉	0:23:32	1.9%
15	メディア	0:19:23	1.6%
16	人権	0:17:23	1.4%
17	戦災	0:12:30	1.0%
18	医療	0:10:20	0.8%
19	改元	0:09:27	0.8%
20	紙幣	0:09:04	0.7%
21	芸能	0:08:53	0.7%
22	文化	0:08:36	0.7%
23	教育	0:00:41	0.1%
	合計	20:36:41	100.0%

2019年5月1日～31日

時間が長い順	項目	時間小計 時：分：秒	比率 %
1	スポーツ	3:57:08	20.5%
2	事件・事故	2:20:28	12.1%
3	国際	1:59:54	10.3%
4	政治	1:44:14	9.0%
5	社会	1:35:32	8.2%
6	気象	1:32:07	8.0%
7	皇室	1:27:05	7.5%
8	経済	1:23:59	7.2%
9	芸能	0:47:59	4.1%
10	災害	0:45:10	3.9%
11	医療	0:37:54	3.3%
12	文化	0:17:03	1.5%
13	教育	0:14:32	1.3%
14	季節	0:14:01	1.2%
15	企画	0:09:06	0.8%
16	自然	0:05:07	0.4%
17	科学	0:02:58	0.3%
18	生活	0:01:04	0.1%
19	技術	0:01:00	0.1%
20	天文	0:00:47	0.1%
21	環境	0:00:43	0.1%
22	福祉	0:00:43	0.1%
	合計	19:18:34	100.0%

<モニターして見えたこと>

- ①スポーツニュースが長さで1位を占めている。スポーツ選手や芸能人の活躍がニュースか？スポーツ・芸能でやれ。
- ②4月は国民の暮らしと直接関わりが無い皇室問題に長時間をかけ、これが2位。その分だけ重要な問題が報道されなかった。
- ③暮らしにかかわる政治問題が4位である。全体のわずか8%。国会報道はかいつまんだ報道で安倍首相の顔ばかり出す。気象情報とほぼ同じ長さなのは問題だ。気象は天気ニュースでやればよい
- ④事件・事故について。多発する犯罪の報道の仕方に問題あり。現場の状況説明を何度も繰り返し映すが、その背景を追求した報道がない。これでは犯罪を拡散・宣伝するだけになりかねない。公共放送の使命が「健全な民主主義に資するもの」というなら社会背景にメスを入れ、犯罪防止につながる調査報道が必要である。
- ⑤1日（当日）のトップニュースが何かは、その日のニュースの重要性を示す。スポーツや天気などがトップの日が多い。4月、5月は毎日安倍首相の顔がいやというほど出てNHKは安倍政権の露骨な宣伝局になっている。公共放送の危機を感じる。

NHK神戸放送局へ意見書を提出しました

NHK神戸放送局 局長 林 理恵様

2019年4月のNHKTV「ニュースウオッチ9」の問題点はどこにあるか ～私たちの1か月にわたる詳細なモニター結果に基づいての意見～

2019年5月30日

NHKとメディアを考える会(兵庫)

はじめに

私たち「NHKとメディアを考える会(兵庫)」は、公共放送NHKのニュース報道が「民主主義の発展に寄与し、国民一人一人が健全な批判精神を養うとともに、有権者としての投票行動の質を向上させる」ことに役立つものであってほしいと常日頃願っています。

私たちは、このような願いをもとに、1日のNHK TVニュースの中で最も長い1時間番組である「ニュースウオッチ9」について詳細にモニターして、ここに当面の意見・感想をまとめました。

I ニュース放送内容の時間配分

テーマ別に放送された時間を集計すると、その順位は次のような結果です(詳細は別紙モニター【表】)。

- 1位 スポーツニュース
- 2位 皇室関連
- 3位 国際問題
- 4位 政治
- 5位 事件・事故
- 6位 気象
- 7位 経済問題
- 8位 災害関連

II 放送内容についての意見・感想

1 トップ・ニュースに何をとりあげているか

～ニュースオーダーについて～

当日のトップニュースは、当然のことながらその日の重要・緊急事項を取り上げるべきだと考えます。ところが、しばしばトップ・ニュースとしてとりあげるには、的確か否か、首をかしげるものが散見されるのは、どうしたことでしょう。とりわけ政治的に重要と考えられる問題が後回しのときが多い、と感じます。その場合、その問題の重要度を薄めることになっているのではないかと思われる。

2 テーマ別の放送時間を見ると【政治】報道が第4位と少なく、しかも報道されなかった今日的な国民的課題が多い

「政治問題」が、4月全体の時間(20時間36分41秒)中わずか1時間57分56秒(9.5%)で、全体の1割にも満たない。時間的には4番目だった。圧倒的に政治

に関する情報が少ない。1週間のデータ(4月1日～9日)をとってみても4番目という同じ結果が出ている。(別紙参照)。しかも政治問題と天気情報(1時間47分)がほぼ同じ時間量だった。時間が少ないため、本来国民に伝えるべき大事な問題を伝えていないことが重大である。何が伝えられなかったかは、毎日のNHKのニュースオーダーを他のメディア(新聞・民放)と比較した資料で分かる。

ニュースの時間は長いのに、圧倒的に政治に関する情報が少ないのがわかる。

国会会期中でも、国会で何が論議されているかの報道がほとんどない。国民生活にかかわる重大問題が報道されず、国民の知る権利に応える公共放送の役割を果たしているのか疑問に思われる。

3 改元と退位に伴う皇室の取り上げ方は一方的で異常だと感じた

～客観的・多角的視点から放送したか～

この4月は「天皇の退位」とそれに伴う「改元」問題で特別な期間であったとしても、「ニュースウオッチ9」だけで2時間18分07秒で、4月全体の時間の第2位となっており、その占める割合は11.2%という異常な長さであった。皇室関連の報道はすべての番組を合わせると、3日(4月29日から5月1日)で33時間という調査結果も出ている。(ジャーナリスト新聞)

4月1日と2日は、「改元」問題で、一日中、ニュースの報道時間を費やした。同じ内容で同じ画面(とくに安倍首相が登場)を何度も放映し、まるで安倍政権の広報のようであった。

長時間の割には「元号」の由来や「元号法」制定時の三原朝雄総理府総務長官「談話」(1979年)の「元号、西暦を自由に使い分けて結構」などの解説もなく、とくに元号に批判的な識者の意見とか、海外からどう見られているか、という客観的な報道がなかった。

4月30日、5月1日は「天皇退位」に時間が費やされ、この日の他の重要な問題が無視された。

皇室問題は、取り上げ方は祝賀一色であった。憲法解釈の観点から疑義を有する意見があるにもかかわらず、取り上げなかったのは、多角的に見るといって放送法の精神からは問題があるのではないか。即位や退位に伴う一連の儀式は戦前のそれを踏襲したもので、

「政教分離」の原則から見てどうなのか、憲法にもとづく国民主権の視点からみての、メディアとしての冷静な報道が必要ではなかったか。安倍政権の天皇の政治利用に協力したような報道だと思った。

4 スポーツニュースが放送時間で一番長いのは変ではないか

スポーツニュースが時間的に第1位を占めている。国民生活にとってそれほどスポーツ情報が必要だろうか。ニュースが娯楽化しているという声がある。その分、他の重要な事項が報道されていないことになる。視聴者がNHKに求めるニュースは、娯楽や天気予報ではない。今、日本と世界で何が起きているか、賢く生きるための正確で客観的な情報である。

5 何が報道されなかったか

～民放や他のメディアとの比較から～

NHKが「なにを放送したか」ということも重要だが、それと同時に「なにを放送しなかったのか」ということも重要である。注目すべき重要事項は、市民の動向についてほとんど報道しなかったことである。市民の姿や声が映るのは各地のイベントの時だけ。「おいしい」「きれいだ」「面白かった」という声だけをとりあげている。

これとは逆に、国会前で声を上げている市民、各地の憲法集会、福島原発事故8年後も苦しんでいる被災者、老朽化原発の再稼働問題、各地の原発裁判と原発問題、消費税増税に反対する市民の集会等々、多くの市民が日本中で声を上げているにもかかわらず、ほとんど無視されている。これでは、NHKはこの国の主権者はだれだと考えているのかが見えてこない。また、国会が開催されていても国民の代表である国会議員の質問などの様子は、その多くが中継放送されていない。

犯罪事件・事故は個別の問題として大きく報道するが、社会的問題になっているセクハラ・性暴力根絶問題、教職員の長時間労働、防衛省F35戦闘機の事故と安倍政権のばく買い、沖縄基地問題、琉球列島の自衛隊駐留問題、オスプレイの勝手な飛行問題、外国人労働者の実態、などなど、政権のマイナスイメージになると思われる問題が避けられている。

政治の貧困が、国民生活の貧困と格差を生み、犯罪の多発を生む原因となっている。この厳しい現実があるのに、日本はまるで豊かで美しく国民は毎日楽しく不安もなく暮らしているような錯覚を起こす報道ばかりである。国民の暮らしの現実を直視した報道がない。

6 ニュース以外では一部に見ごたえのある番組も

4月30日放送のNHKスペシャル「日本人と天皇」は見ごたえがあった。天皇家の信仰は日本古来の伝統である「神道」と紹介されることが多いが、天皇家は明治以前は熱心な仏教徒であったことや、戦後の皇室典範の改正にあたり、三笠宮崇仁親王が女帝の検討を求めていたことなども紹介され、天皇制を考えるうえでの材料を視聴者に提供した。

III 今後のNHKに期待すること

「NHKのニュースは、情報の量が少ないうえに、掘り下げた報道もないので見たくない」と言う人が増えている。調査報道を充実させ、次のような質の高い番組を期待する。

- 国民生活に直結する消費税問題、憲法問題、沖縄辺野古埋め立て、原発問題、年金問題、国保問題、環境問題などなど社会的問題のテーマを掘り下げたニュース報道をしてほしい。
- 神戸放送局制作の「ニュース神戸発」で取り上げてほしい問題。
神戸市の問題では神戸製鋼石炭火力発電所の増設問題で市民が裁判を起こしている。地球温暖化と環境問題の視点からぜひ取り上げてほしい。震災から24年たった今も被災者に安定した住宅が提供されていない。神戸市の災害復興住宅からの高齢者追い出し問題も。
- スポーツは、天気予報と同様、スポーツ「枠」にゆずり、ニュースでは政治問題の報道時間を増やしてほしい。
- 政治家の不祥事問題はフラッシュニュースのように取り上げるだけでなく、第一次安倍政権から次々と起きている国会議員の失言や不祥事など政治の腐敗の本質に迫る報道をしてほしい。モリ・カケ問題はまだ解決していない。関連情報をさらに報道してほしい。
- 経済問題は国民の暮らしに直結する問題なので7位ではなく、もっと時間をかけてほしい。

NHKは視聴者市民からの受信料をもとに、放送番組をつくっている、という「基本」「原点」を肝に銘じて、政権の意向を忖度するのではなく、日本国憲法・放送法本来の精神に立ち返り、市民の目線に立って、世界の平和に貢献するに値する情報を発信してほしい。

以上

NHKは更なる転落を示した みんなで批判の意見を

(6月26日 記者会見報道を見て)

NHKは「安倍不信任案は否決される」という見通しばかり繰り返して、不信任案提出の理由はほとんど報道しない。公共放送の道からどんどん外れるNHK報道、昨26日の報道は更なる転落ぶりを示した。16時からの35分にわたる記者会見は言いたい放題。

「新しい時代の憲法を制定する、混迷の時代に戻るのか、年金不安をあおるのは無責任、消費税は財源を示せ、経済成長しかない、憲法の議論すらしない政党を選ぶのか」など。参院選挙の選挙演説を保障するNHKの異常が、局内では異常でなくなりつつあるのか。その後、5時のニュースでも、この会見のエキスをまずキャスターが説明し、更に安倍本人の映像も再登場させ、安倍演説を何度もくりかえした。

聞くに堪えられず、私は、NHKふれあいセンターに、以下のように強く抗議し要求した。

まず、一方的な会見報道を今すぐにやめること。これは国会の報告ではなく選挙活動ではないか。消費税に変わる財源も年金財源もある。記者会見とは言えNHKが安倍首相の意見のみを垂れ流すことは放送法4条に違反する。安倍首相が述べる一つ一つについて、野党や市民の声を一切報道しないのは何故か。7時のニュースでは、安倍の記者会見は止めて、同じ時間を使って、野党や市民の声を報道すること。すでにNHKの「ニュース番組」は、どんな意見を述べても聞き入れられないばかりか、どこまで転落するか分からない事態

に陥っているが、これからも抗議は続ける。責任者に録音しているこのテープを示してほしい。あなたの責任ではないかもしれないが、NHKが戦前と同じ誤りを犯しかねない事態だ。そのときに、「NHKの職員」としてどう振舞ったかは、あなたにも問われる。

多くの職員は「分かりました。そのまま番組責任者に伝えます」と言うものだが、中には「NHKは公平に報道している」と反論する職員もいます。知らないままそう思っている人もいるし、政府の立場に立って逆上する人もいる。私は「内容はもちろん、この間の報道時間で政権側に充てる時間と反対側に充てる時間配分を見れば一目瞭然ですから、調べて下さい」と言います。

抗議は1時間で4回以上30分以上にわたり、血圧は上がりっぱなしだが仕方がない。そのせいかどうか分らないが、7時と9時のニュースでは、野党や市民の声の報道に一定時間を割いていた。

いま、NHKのキャスター自身が「令和の新しい時代」という言葉を使い始めた。「令和」に続き、大阪G20を選挙活動の一環として位置づけ、年金も消費税も憲法も原発も国民の目の前から消そうとしている。放っておけば、NHKがこれに追随することは目に見えている。

気が付いた全ての人が直ぐに「NHKふれあいセンター」に電話すれば、事態は相当に変わると思います。

番組への意見は・・・

NHK(BSも)
電話 0570-066-066
FAX 03-5453-4000
ホームページ www.nhk.or.jp

民放
(電話) 日本テレビ 03-6215-4444
TBSテレビ 03-3746-6666
フジテレビ 03-5531-1111
テレビ朝日 03-6406-5555

BPO (放送倫理・番組向上機構)
電話 03-5212-7333 FAX 03-5212-7330



番組への意見は・・・

NHK(BSも)【関西版】
電話 06-6949-5500
FAX 03-5453-4000
ホームページ www.nhk.or.jp

関西

民放
(電話) 読売テレビ 06-6947-2500
毎日放送 06-6359-1123
関西テレビ 06-6314-8080
朝日放送 06-6453-1111

BPO (放送倫理・番組向上機構)
電話 03-5212-7333 FAX 03-5212-7330



画期的な政策 「放送 政府から独立を」

(5/29) **市民連合**(安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合) **と5野党・会派が「13項目共通政策」で合意**



市民連合ウェブサイトより

13. 国民の知る権利を確保するという観点から、報道の自由を徹底するため、放送事業者の監督を総務省から切り離し、独立行政委員会で行う新たな放送法制を構築すること。

市民連合と4野党1会派「共通政策」
放送の自由徹底の「独立行政委員会」設立

参院選の共通政策として、5野党・会派と市民連合は13項目の「共通政策」に合意した。その13番目に「国民の知る権利を確保するという観点から、報道の自由を徹底するため、放送事業者の監督を総務省から切り離し、独立行政委員会で行う新たな放送法制を構築すること」が入っている。

このような政策は、政党単独でも発表されたことはない。今回初めての政策であり、しかも「5野党・会派と市民連合」の共通政策として発表された。

この政策はGHQによって戦後の放送民主化を図る「放送委員会」が作られたとき以来の大きな放送変革への第一歩ではないだろうか。放送委員会は、著名なマルクス経済学者・高野岩三郎を初代会長に選出した。その高野会長の第一声は「革新日本における放送事業のあり方」について、当時はテレビがなくラジオだけだったので、「ラジオを通ずる新日本建設の事業は、それが民主日本の建設である以上、その対象は非常に広汎な国民大衆であり、勤労大衆がその中核である。したがって、ラジオはこの大衆とともに歩み、大衆のために奉仕せねばならぬ。太平洋戦争中のように、もっぱら国家権力に駆使され、いわゆる国家目的のために利用されることは、厳にこれを慎み、権力に屈せず、ひたすら大衆のために奉仕することを確守すべきである」と宣言した。

いまNHKのニュース報道を「アベチャンネル」と称する人が増えているが、NHKはこの高野宣言の片鱗でも思い出してほしい。受信料は私たち視聴者大衆が払っているのだ。放送は安倍政権のためにあるのではない。高野の宣言にあるように、国民大衆のために、奉仕してしるべきだ。そして、野党5党は、この13番目の共通政策を実現するために全力を尽くしてほしい。

年金問題

NHKは掘り下げた

報道をしたか

政府・金融庁の審議会が「年金だけでは老後の生活資金は賄えず、平均2000万円不足する」と報告しました。

この報告は国民の中に、公的年金を削り続ける安倍自公政権への不安、批判、怒りを呼び起こしました。年金問題が夏の参院選の大争点です。しかし、NHKの報道は、国民生活と直結する大きな問題なのに、掘り下げた報道がありません。

削減の原因は「マクロ経済スライド」

本来、年金額は物価が上がれば、それに伴って上がる筈のものでした。老後不安の大きな原因は、年金額の伸びを物価上昇以下に抑える「マクロ経済スライド」制を導入したことにあります。

ところが、過去2回にわたって、(15年度と19年度)この「マクロ経済スライド」を発動して、年金の支給水準を、実質6.1%も下げたのです。ある年度で削り残しが出た場合、翌年度以降に繰り越して確実に削る「キャリーオーバー」制も導入しました。

政府は7兆円削減を表明

19年度のマクロ経済スライド発動の際、15年度の削り残し分のキャリーオーバーを行

いました。物価は1%

上昇したのに、年金額の伸びを、僅かに0.1%に抑えて、実質0.9%も削減したのです。NHKはこの「年金削減制度」を一般視聴者に解かりやすく報道する責任があります。

東京では若者を中心に

「年金返せ、払えデモ」

6月16日、このでたらめな「年金政策」の当事者・安倍政権に抗議するデモが東京銀座で行われました。「年金返せ」「年金払え」「生活できる年金払え」と、若者を中心に数千人のデモを繰り広げました。

全国で5千人を超える

原告団の裁判が

一方では、全日本年金者組合(約11万人)が各県で「年金削減は憲法違反」の裁判を行っています。全国で5千人を超える原告団のマンモス裁判です。始めたのは一昨年、兵庫県年金者組合も大阪地裁で、11回目の意見陳述を行いました。NHKニュースはデモも裁判も取り上げていません。

世話人 長尾



6月26日国会前(撮影 梅田繁)

あとがき

いま、NHKを

市民の手に取り戻すとき

ある人はニュースを見て、「NHKはもはや公共放送ではない。国営放送だ」という。

永田浩三さんは、6月9日日のついで「NHKを支配するものはだれか」で、「板野専務理事が官邸から送り込まれようが、来まいがNHKはすでに安倍政権に私物化されている」と言われた。

なぜか。放送制度が政府の管理下にあるから、NHKは政権の介入・圧力から逃れられない、と。「ならば、制度を変えるしかない」という結論になる。

ところがいま、世間の衆目は、そのテーマに向けられている。7月の参議院選挙で、市民連合と5野党・会派が合意した政策の中に、初めて「放送事業者の監督を総務省から切り離し、第三者機関が行なう」という放送制度の改革が掲げられたのだ。素晴らしい! 政府が管理しているのは、ロシア・中国・北朝鮮、そして日本だけ。参議院選の野党勝利で「安倍政権で壊れたNHK」をとりもどそう。

N・M